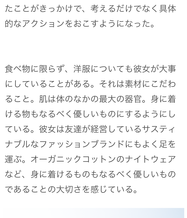
KANAKO YONEZAWA

自分の軸を作るまで

彼女がいつも伝えているのは、選ぶ力をつけることの大切さ。情報を身に付けたうえで自分自身が何を選ぶのかを伝えている。知識がつくと自信がつき、自分の軸ができてくる。彼女がそうした考えを持つようになったのはお料理びと美患さんに出会ってからだ。彼女はそこで自分の軸ができるようになった。なかでも一番大きな影響を受けたのがマクロビオティックという考え方だ。マクロビオティックと聞くと、「お肉食べないやつだよね」などの声を聞くことが多いがそうではない。

彼女が美患さんから学んで一番腑に落ちたのが、「マクロビオティックとは大きな視野で物事を捉えられるようになること」。自然の摂理にそって、気持ちよく、自分が心地よい選択ができるようになること。そして全てのことがつながっているという感覚をもつことだ。物事の知識を身に付けたうえで選択は各々の自由だが、知って選択することで自分の軸もできてくる。



子供をきっかけに

彼女がこうした活動に取り組むようになったのは、子供が生まれてからのことだ。子供達の未来を考えた時、自然と持続可能なことへの大切さをより意識するようになった。子供達のこれからの未来がどうなるか。今の私たちの行動が少しずつ環境を変え、子供達の生きる時代が変わっていく。彼女はお母さんになったことがきっかけで、考えるだけでなく具体的なアクションをおこすようになった。

食べ物に限らず、洋服についても彼女が大事にしていることがある。それは素材にこだわること。肌は体のなかの最大の器官。身に着ける物もなるべく優しいものにするようにしている。彼女は友達が経営しているサスティナブルなファッションブランドにもよく足を運ぶ。オーガニックコットンのナイトウェアなど、身に着けるものもなるべく優しいものであることの大切さを感じている。

母がきていた洋服を着る

今、彼女の新しい洋服の楽しみ方がある。それは母の洋服を着ること。元々母がファッション関連の仕事をしていたこともあり、彼女自身も小さい頃から洋服が大好きで、15 歳になるとモデル業も経験した。そんな彼女が母の服を着ているのを見て、最近では子供たちも将来母の洋服を着たいと言うようになった。親子 3 代で洋服が繋がれている。そんな日を彼女は楽しみにしている。

彼女はもともとトレンドのものも好きである。しかし今はデニムなど長く着れるものの方がしっくりくるようになった。また最近はファストファッションでも人や地球に優しいものは増えている。子供は成長が早く、長く着れるものを選ぶのは難しいが、ファストファッションの中でも肌に優しいものを買うなどできることを続けているという。

アパレルの友達が多い彼女は作り手のことまでわかっていたいと考えるようになった。どういう思いで作っているかを知ることで、自分の選択の幅が広がるからだ。こうした部分でもマクロビオティックの考えが活きているのだろう。

新しい取り組み

そんな彼女の今後の目標がある。それは子供達がいろんなことを学ぶ機会を増やすことだ。例えば、彼女はファーマーズマーケットに子供たちを連れていくこともある。子供たちに農家の方と触れ合う機会を作り、旬を知り、作り手の想いを知り、自分達でお野菜を選ぶ。また、お味噌や梅干しなどの発酵食品も子供達と一緒に作ることで学ぶきっかけにしている。

また、コロナで家庭菜園する人が増えたと思うのだが、育てるのがどれだけ大変かを初めて知った人も多いと思う。直接農家さんから買うなどして農家とみなさん、そして子供たちがつながって欲しいとも考えている。
そうしてみんなが有機的なものを選んでいけば値段も下がっていき、もっと広がる。みんなでそれを選べるようになれば余計いい循環が生まれると考えている。

ファッションについても同様にいい循環を子供たちに伝えたいと考えている。洋服はどんどん増えてしまいがちだ。好きなモノだけに絞っていくための断捨離なども環境にはよくない。お古という言葉のイメージはあまりよくないが、本当はとても素敵な事。彼女も洋服を大事にしていきつつ、全然袖をとおしてないなという物を減らし、自分の好みのものをそばに置き、子供たちに残したいと考えている。未来の子供達のために自分の軸を持ち、新しいことに挑戦していく彼女の活動が今後も楽しみである。